

鳥取縣公報

縣 令

第九百九十一號

昭和十三年十二月二十三日

金曜日



◆鳥取縣令第六十三號

昭和十三年十月一日鳥取縣令第四十八號中左ノ通改正シ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十三年十二月二十三日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

鳥 取 市

閉店時刻ヲ午後十一時迄繰延ブル期間並地域中

「七月十五日、七月二十日、七月二十五日、七月三十日、八月五日、八月十日、八月十五日、八月二十日、八月二十五日、八月三十日」ノ次ニ「十一月十六日ヨリ十一月二十五日迄全市一圓」

及「十二月二十日ヨリ十二月二十八日迄全市一圓」ヲ追加

十二月二十日ヨリ十二月三十一日迄全市一圓ヲ削除

商店法第二條及第三條ノ規定ヲ適用セザル期間並地域中

「十一月十六日ヨリ十一月二十五日迄」ヲ「十二月二十九日ヨリ十二月三十一日迄」ト改ム

米 子 市

鳥取縣公報

毎週

曜日發行

(休日ニ當ル時ハ翌日)

昭和十三年三月廿三日

第九百九十一號 (昭和三十四年四月十五日)

第三種郵便物認可

閉店時刻ヲ午後十一時迄繰延ブル期間並地域中
 期間地域ノ次ニ「二月十四日ヨリ二月二十八日迄全市一圓」ヲ加ヘ「四月十三日ヨリ四月十四日迄」
 ノ次ニ「四月二十日、五月二十七日、七月三日ヨリ七月九日迄、八月六日全市一圓」ヲ追加
 「八月八日ヨリ八月十二日迄」ノ次ニ「八月二十二日ヨリ八月二十七日迄全市一圓」ヲ加ヘ「十
 月十三日ヨリ十月十四日迄」ノ次ニ「十月二十日、十一月二十七日、十一月二日全市一圓」ヲ追加
 「十二月二十二日ヨリ十二月三十一日迄」ヲ「十二月二十二日ヨリ十二月二十九日迄」ト改ム
 商店法第二條及第三條ノ規定ヲ適用セザル期間並地域中
 「七月三日ヨリ七月九日迄全市一圓」ヲ削除
 「七月十四日、七月十八日、七月二十四日」ノ次ニ「十二月三十日ヨリ十二月三十一日迄全市一
 圓」ヲ追加ス

條 例

◆鳥取縣條例第十一號

鳥取縣有給縣吏員恩給條例中左ノ通改正シ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十三年十二月二十三日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

第三條中「實業補習教育主事」ヲ削除シ

「穀物検査員」ヲ「農産物検査員」ニ改ム

第八條ヲ左ノ通改ム

恩給ヲ受クルノ權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ擔保ニ供スル事ヲ得メ但シ恩給金庫ニ擔保トシテ供スルハ
 此ノ限ニ在ラス
 前項ノ規定ニ違反シタルトキハ恩給ノ支給ヲ差止ム
 特十九條第五項ヲ左ノ通改ム
 増加退隱料ノ等差左ノ如シ

傷院原因恩給法施行令 第二十四條ニ依ルモノ
 退隱料年額ニ對スル等差

特 別 項 症	年 額	ノ	十 分	ノ	十 二
第 一 項 症	同		十 分	ノ	十
第 二 項 症	同		十 分	ノ	八
第 三 項 症	同		十 分	ノ	七
第 四 項 症	同		十 分	ノ	六
第 五 項 症	同		十 分	ノ	五
第 六 項 症	同		十 分	ノ	四
第 七 項 症	同		十 分	ノ	三

附則條例中「本則」「本法」「規則」トアルヲ「條例」ニ改ム
 附則第四條ヲ削除ス

附 則

第一條 第八條第二項ノ規定ハ恩給金庫設立後三年間之ヲ適用セス

第二條 農産物検査員ノ本條例施行前ノ在職年月數ハ之ヲ本條例施行後ノ在職年月數ニ通算ス

告 示

◆鳥取縣告示第七百五十六號

繭及生絲現在高並ニ生絲製造高及消費高調査ノ繭絲調査員左ノ通囑託並解囑及擔當變更アリタリ

昭和十三年十二月二十三日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

一 繭絲調査員ノ囑託及解囑

囑託セラレタル繭絲調査員氏名	解囑セラレタル繭絲調査員氏名	擔當調査範圍	囑託又ハ解囑セラレタル年 月 日
牧 忠 四		八頭郡河原町	昭和十三年十二月十五日
田 淵 道 太 郎		八頭郡八東村	右 同
	鎌 谷 繁 雄	八頭郡若櫻町	右 同

二 繭絲調査員ノ擔當變更

繭絲調査員氏名	新擔當調査區	舊擔當調査區	變更年 月 日

西 尾 清 市 八頭郡若櫻町

八頭郡河原町

昭和十三年十二月十五日

◆鳥取縣告示第七百五十七號

當管内ニ於ケル健康保險產婆左ノ通指定セリ

昭和十三年十二月二十三日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

氣高郡日置谷村大字西田九一

磯 江 美 智 子

昭和十三年十二月十七日

◆鳥取縣告示第七百五十八號

左記ノ者ニ對シ今回試驗檢定ノ上合格者ニ對シ各頭書ノ通小學校教員免許狀ヲ授與セリ

昭和十三年十二月二十三日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

種 別

尋常小學校本科正教員

同	石 龜 悅 子
同	福 光 花 子
同	岸 本 喜 代 子
同	杉 井 さ か え
同	野 日 朝 子
同	竹 澤 真 子

